

令和5年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22011	事業名	空家等対策事業				
	事業手法	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☒ 補助等 ☐ その他()						
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上			予算科目	会計	01:一般会計
		基本施策	02:住環境の向上				款	08:土木費
		施策の方向	03:空き家・空き地の対策・利活用				項	05:住宅費
		重点プロジェクト	-				目	01:住宅管理費
事業期間	H 29 年度 ～ R - 年度		主な根拠法令等	空家等対策の推進に関する特別措置法 ほか				

評価分類	A1
------	----

担当部署	
部	建設部
課	建築住宅課 住まい推進G

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	空家の増加は、地域住民の生活環境へ悪影響を及ぼすとともに、市街地の空洞化や周辺地域の過疎化など、地域の魅力や活力の低下に繋がる ことが懸念されるため、空家の利活用や適正管理を促していく必要がある。	空家所有者及び空家購入希望者	特定空家等の周辺に悪影響を及ぼす空家等への対策を講じ、住環境の維持向上を図る。また、空家の利活用を促進し、定住促進と地域活性化を図る。	空家等対策協議会において管理不全状態の空家等や特定空家等の適否や措置方針を協議し、適切な措置を講じる。また、空家の活用を促進するため、空き家情報バンク制度を通じて空き家の所有者と購入希望者のマッチングを行うとともに、空家等の改修に要する経費への助成を行う。

③事業の実施状況（P・D）

年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業計画		○特定空家等への対応 ○空家活用 ・空き家情報バンク制度 ・空き家リフォーム支援事業補助金の交付		○特定空家等への対応 ○空家活用 ・空き家情報バンク制度 ・空き家リフォーム支援事業補助金の交付		○特定空家等への対応 ○空家活用 ・空き家情報バンク制度 ・空き家リフォーム支援事業補助金の交付		○特定空家等への対応 ○空家活用 ・空き家情報バンク制度 ・空き家リフォーム支援事業補助金の交付	
活動実績 （計画通り実施できたか）		認定していた1件の特定空家等は行政指導によって売却に繋がり、全ての特定空家等が解決となった。管理が不十分な空家に対しても、文書や訪問等により適正管理を依頼した。空き家情報バンク制度は、チラシを刷新した上で固定資産税等納税通知書に同封したことで所有者と購入希望者のマッチングに繋がり、空き家リフォーム支援事業についても、チラシを刷新し周知したことで補助金交付に繋がり、空き家の利活用ができた。		管理が不十分な空き家の所有者に対し、文書や訪問等により適正な管理を依頼した。また、県主催の空き家対策セミナー上映会を共催した。空き家の活用を促進するため、空き家情報バンクのホームページについて成約済物件を一覧にするなど、所有者と購入希望者のマッチングにつながるよう更新を行った。					
計画額	事業費	3,500千円	911千円	3,500千円	1,937千円	3,500千円		3,500千円	
	国・県支出金	1,500千円	465千円	1,500千円	625千円	1,500千円		1,500千円	
	地方債		0千円						
	その他		0千円						
	一般財源	2,000千円	446千円	2,000千円	1,312千円	2,000千円		2,000千円	
決算額	事業費		911千円		1,602千円				
	国・県支出金		359千円		690千円				
	地方債		0千円		0千円				
	その他		0千円		0千円				
	一般財源		552千円		912千円				
①期間内計画額(R4-7)		14,000千円		②期間外計画額(R8-)		0千円	①+②総計画額		14,000千円

(令和5年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	1,937千円
次年度への繰越額	0千円

④ 指標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	特定空家等の行政指導に対する改善率	改善済件数/指導件数	成果	%	計画値	100	100	100	100
					実績値	100	100		
	空家活用件数	空き家情報バンクの成立件数及び補助制度を活用した空き家のリフォーム件数の合計	成果	件	計画値	5	5	5	5
					実績値	8	11		
	空き家情報バンク新規登録件数		活動	件	計画値	10	10	10	10
					実績値	6	4		

⑤ 成果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)	
	B	管理が不十分な空き家の所有者に対し、文書や訪問等により適正な管理を依頼したことにより、まずまずの空き家が改善された。 空き家のリフォームを希望される方に、空き家リフォーム支援事業費補助金を2件交付し、空き家情報バンク制度についてチラシの送付やホームページ等を通じた情報提供により、4件の登録と9件の成約につながるなど、空き家の利活用を促進することができた。
	まずまず成果を得た	

事業の対象	事業の目的
空家所有者及び空家購入希望者	特定空家等の周辺に悪影響を及ぼす空家等への対策を講じ、住環境の維持向上を図る。また、空家の利活用を促進し、定住促進と地域活性化を図る。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項	
	住環境の低下の原因となる管理不全空家等が9件あり、今後、更に管理不全空家等の増加が懸念されることから、空き家の所有者等に対して効果的な取り組みを模索しながら対策を講じていく必要がある。また、市内の空き家数に対して、空き家情報バンクへ登録されている空き家が少ないことから、空き家の所有者だけではなく、各種関係団体への働きかけ等により登録件数を増やし、空き家の利活用につなげる必要がある。	

⑦ 事業 の 展 開 (A)	方向性	
	継続(現状維持)	現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容	
	令和6年度で対応する(した)もの 空家等対策協議会において管理不全空家等または特定空家等の適否や措置方針を協議し、適切な措置を講じる。また、空き家所有者等へ空き家情報バンクへの登録を促すとともに、管理が不十分な空き家所有者等へは除却工事補助制度の周知を行う。	令和7年度以降で対応するもの 空家等対策協議会において管理不全空家等または特定空家等に認定された空き家に対して適切な措置を講じる。また、空き家情報バンクの登録件数を増やすため、利活用が可能な空き家の掘り起こしを検討する。

【履歴】		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	成果判定	B	B		
	事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)		

1次評価者	建設部 建築住宅課 住まい推進GL 村山 理
最終評価者	建設部 建築住宅課長 種村 徳之